

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労準備型芳泉（クラス2：らいふアップ芳泉）		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 11 月 14 日		～ 令和 7 年 12 月 20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	令和 7 年 11 月 14 日		～ 令和 7 年 12 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人（うち常勤4人）	(回答者数) 4人（常勤のみ）
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 12 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っています。	①子どもが自ら行えるように、食事や排泄、衣類の着脱など、健康的な生活を送るための支援 ②遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養う支援 ③数、大小、色、形等の基本概念の習得 ④季節の変化への興味などの感性形成のための外出活動 ⑤意志の伝達、言葉の習得や発語の促し、思いを伝える支援 ⑥手順や役割ルールなど社会生活に必要な発達支援	生活スキルの向上を目的としたプログラム（ビジョントレーニング、サーキット、作業、手指練習等）を1ヶ月単位で繰り返し行うことで、引き続き定着へとつなげてまいります。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	保護者の方に、送迎時や電話でこどもの状況を伝え合ったり、発達の状況について話をしています。また保護者面談の際には、ご家庭の状況を詳細にお聞きし、その場でお応えできることは対応しています。	保護者との会話が深まるよう、こどもを日々観察するとともに、関係機関や相談員とも連携し、日ごろから更なる情報収集に努めてまいります。
3	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	言葉で利用の様子を保護者に伝えることが難しいこどもが利用しているため、保護者に写真を見ていただくことができるよう、Instagramで活動の様子を週2～3日投稿している。	支援の目的や専門性が伝わるよう工夫してまいります。保護者からも、どんな情報が知りたいか等の情報収集を行ってまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	月1回臨床心理士の保護者相談会を実施し、希望者にはペアレントトレーニングを行っているものの、一部に過ぎない現状がある。保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行うことが求められると感じています。	ペアレントトレーニングに関する知識や技術習得の機会が事業所として得られていないことが要因として考えられます。今後はペアレントトレーニングの研修年間計画を立て、事業所として取り組んでまいります。
2	放課後児童クラブや児童館との交流する機会がない。	放課後児童クラブへ移行対象の子どもは、弊事業所を利用していないため、必要性を感じられなかったことも要因としてあげられます。	地域の子ともと交流することで、コミュニケーションの輪が広がることを期待して、個々に応じて交流のきっかけづくりをしていきます。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による保護者同士の交流の機会が設けられていない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	学校のPTAなどを通して既に保護者同士つながっている方がいるため、あえて事業所として交流の場を設けなくてもいいという声が上がっています。また仕事で参加が難しい方、子育て中の方等、様々な要因が考えられます。	年度が替わるタイミングで、新しい保護者の方もおみえになるので、アンケートを実施し希望をお聞きし実施してまいります。